



# 生活だより

苦小牧市立ウトナイ小学校  
生徒指導部通信 第5号  
平成29年6月22日

## 線路付近での危険な遊びがありました。

本校では、数年前よりウトナイ南方面の車両通行止めされた地区の高速道路陸橋下、線路付近で、児童が集団で遊ぶことがありました。

そこは車両の通行もないので人通りも少なく、柵や塀もないすぐ横を列車が通り、死角にもなることから、子どもだけで行ってはいけない危険な場所として、指導してきました。

先日、教育委員会から、「電車と接触しそうになった子どもがいる」との連絡を受け、調査した結果、多くの子どもたちが、秘密基地のような場所として今でも集まって遊んでいる実態がわかりました。

すぐに遊んでいた子どもたちを集め状況を聞くと、走ってきた電車と接触しそうになり、命の危険を感じる状況だったとのこと。また、はしごを登り陸橋に上がるなど、いつ怪我や事故が起きてもおかしくない危険な遊びもしています。

学校では再度、『行ってはいけない場所、危険な場所であること。』『もう絶対に行ってはいけないこと。』『線路にも入ってはいけないこと。』などを指導しました。

ご家庭からも『危険な場所や、大人の目の届かない場所』などに行かないよう、声かけをお願いします。

また、別件ですが、最近子どもたちだけの買い食いやお金の貸し借り、火遊びなどもありました。学校では該当児童への注意と保護者への連絡などを行いました。

学校と家庭とが連携して、子どもたちを見守り育てていきたいと考えていますので、ご協力よろしくをお願いします。



はしご



線路